

- [redacted]
- [redacted]

ユーザー
ダッシュボードの ユーザー セクション (ダッシュボード → ユーザー) には、アカウントで構成されているすべてのユーザーが一覧表示されます。このページから、ユーザーの検索、ユーザーエディタを開く、新しいユーザーの作成、現在デバイスに関連付けられていないユーザーの削
除を行うことができます。

検索
ページの上部には、 検索 というラベルの付いた検索フィールドと、 名前、ユーザー名、またはメールというプレースホルダーがあります。入力をやめると一覧が自動的に更新されます。

ユーザーテーブル
ユーザーは、並べ替え可能なページ分割されたテーブルに表示されます。行をクリックするとユーザーエデ
ィタが開きます。

列

名前 ：ユーザーの姓と名。テーブルはデフォルトで名前順に並べ替えられます。
メール: ユーザーのメールアドレス。
ユーザー名 : ユーザー名 (多くの場合ディレクトリのユーザー名)。
デバイス
：現在ユーザーに関連付けられているデバイスの数（登録解除されたデバイスを除く）。ユーザー
に割り当てられているがまだ登録されていない Apple デバイスも含まれます。最終デバイスアクティビティ
：ユーザーのいずれかのデバイスから送信された最新のステータスレポート。ユーザーがデバイスを持っていない場合は空です。この列で並べ替えると、非アクティブなユーザーを見つけられます
。
WiFi 証明書 ：ユーザーに割り当てられた Wi‑Fi 証明書の名前（アイコン付き）。ユーザーに証明書がない場合は空です。
ID: 内部ユーザー識別子。

更新とページネーション

更新アクションで一覧を再読み込みします。
テーブルはページ分割されています（ 1ページあたり 10/25/50項目）。

ユーザーアクション

新しいユーザーを作成

新しいユーザーを作成
を使用して、ユーザー作成ダイアログを開きます。ライセンスが期限切れの場合、このアクションは無効に
なります。

Google Workspace から同期
アカウントで Google Workspace ディレクトリ同期が利用可能な場合、ページに Google Workspace
から同期
が表示されます。同期を開始すると、リクエストの実行中に進行状況インジケーターが表示されます。

ユーザーを削除

ユーザーがどのデバイスにも関連付けられていない場合にのみ、ユーザーを削除できます (デバイス 列が 0 である必要があります)
。ライセンスが期限切れまたは終了している場合、削除アクションは無効になります。

複数行の選択と一括削除

テーブルの下のアクションバーから、複数行の選択を有効にできます。このモードでは、複数のユーザーを
選択して一括削除できます。

対象条件 : デバイス = 0 のユーザーのみ削除対象として選択できます。
すべて選択 : すべて チェックボックスは、現在のページで対象となるすべての行を選択します。
一括削除 : 行が選択されていない場合、またはライセンスが期限切れまたは終了している場合、
選択したユーザーを削除 は無効になります。

Wi‑Fi 証明書と EAP

WiFi 証明書
列には、現在ユーザーに割り当てられている証明書の名前が表示されます。ユーザー証明書は通常、 Wi‑Fi EAP

（ EAP‑TLS など）の構成に使用されます。証明書の割り当てと管理については、 証明書の管理
を参照してください。

ユーザーエディタ

ユーザーエディタは、ユーザー行をクリックして ダッシュボード → ユーザー
から利用できます。ユーザーの詳細を編集し、ユーザーごとの Wi-Fi EAP
認証情報を構成し、ユーザーに関連付けられたデバイスを表示できます。

ユーザー詳細

上部セクションには、ユーザーの主要なフィールドが含まれています。一部のフィールドは必須で、欠落し
ているか無効な場合、エディタに検証エラーが表示されます。

- **ID**: 読み取り専用の識別子。
- 名 ：必須。
- 姓 ：必須。
- ユーザー名 ：必須。
- メール ：必須で、有効なメールアドレスである必要があります。
- 電話番号 ：任意。
- **Google** アカウント ：任意で、指定する場合は有効なメールアドレスである必要があります。
- **Apps and Books** (読み取り専用。ユーザーが個人の iPhone または iPad
  をユーザー登録で登録すると、 **Managed Apple** アカウント フィールドの下に表示されます):
  Cerberus がユーザーの個人デバイスにアプリのライセンスを割り当てるために Managed Apple
  アカウント用に作成した Apps and Books ユーザーのステータス ：関連付け済み 、登録済み、
  Apple の応答待ち 、作成中 、 失敗 、 廃止
  。登録済みのままのユーザーは引き続きライセンスを受け取ることができます。 失敗
  は通常、アカウントが Apps and Books トークンと同じ Apple Business
  組織にないことを意味します。

Google 認証のデフォルトポリシー

Google Workspace 環境で Google 認証が有効になっている場合、エディタに **Google**
認証のデフォルトポリシー が表示されることがあります。これは、このユーザーが Google
認証を使用して登録したデバイスに適用されるポリシーです。

- ポリシーを変更 ：ポリシー選択ダイアログを開きます。
- ポリシーを開く :
  ポリシーが設定されている場合、選択したポリシーをポリシーエディタで開きます。

- 新しいデフォルトポリシーを選択した後、変更を適用するにはユーザーを保存する必要があります。エディタには保存を促す通知が表示されます。

Wi-Fi EAP 認証情報

WiFi EAP 認証情報 セクションは、割り当てられたポリシーに必要な Wi-Fi EAP 構成が含まれている場合に、ユーザーのデバイスに自動的にインストールされるユーザーごとの認証情報を構成するために使用します。 Wi-Fi EAP 構成は、 Android ポリシーの ネットワーク構成 の一部です。

クライアント証明書

ユーザーにクライアント証明書を任意で割り当てることができます。証明書が割り当てられると、クライアント証明書フィールドに表示され、メニューからアクションを実行できます。証明書が割り当てられていない場合、フィールドには 証明書が割り当てられていません と表示され、割り当てることができます。

- 証明書を割り当て ：証明書選択ダイアログを開きます。
- 証明書を開く ：証明書エディタを開きます。
- 証明書を変更 ：別のクライアント証明書を選択します。
- 証明書の関連付けを解除 ：ユーザーから証明書を削除します。システムは、このユーザーに関連付けられているすべてのデバイスからも証明書を削除します。

証明書のインポートと管理については、 証明書の管理 を参照してください。

ID、匿名 ID、パスワード

- **ID**: ユーザーの ID。トンネリング外部プロトコル (PEAP、EAP-TTLS) の場合、これはトンネル内で使用されます。
- 匿名 **ID**: トンネリング外部プロトコルで、トンネル外に提示される ID として使用されます。指定しない場合、デフォルトは空の文字列です。
- パスワード ：それを必要とする EAP 方式で使用するユーザーパスワード。指定しない場合、デバイスがユーザーにプロンプトを表示できます。表示 /非表示アクションでパスワードの表示を切り替えます。

関連付けられたデバイス

関連付けられたデバイス
セクションには、現在ユーザーにリンクされているデバイスの一覧が表示されます。ユーザーに 1 つ以上の関連付けられたデバイスがある場合、そのユーザーは削除できません。

保存と削除
ユーザーを保存 :
フォームが有効で、保留中の変更があり、ライセンスが有効な場合にのみ有効になります。保存中
は進行状況インジケーターが表示されます。
ユーザーを削除 : ユーザーがデバイスに関連付けられている場合、またはライセンスが期限切れ /
終了している場合は無効になります。削除が許可されている場合、確認ダイアログが表示されます
。ユーザーが登録トークンに割り当てられている場合、ダイアログには、それらのトークンで登録
されたデバイスがユーザーに割り当てられなくなることが警告されます。ユーザーを削除すると、
その Apps and Books ユーザーのアプリライセンスも解放され、 Apple で廃止されます。

未保存の変更の警告
未保存の変更がある状態でページを離れようとすると、ダッシュボードに変更を破棄するかどうかが確認さ
れます。